

レディーファーストって良いことなのか

ドアの入り口などで誰かと鉢合せたとき、「どうぞ」と相手に先を譲ろうとすると、相手も同じく「どうぞ」と譲り合いになることがあります。そんなときに私は、相手が女性だと「レディーファーストですから、どうぞ」と言います。大抵の場合は、こちらの好意をすんなりと受け入れてくれます。レディーファーストとは、女性を尊重して優先させる欧米のマナーとして日本にも徐々に広がってきた考え方です。レディーファースト後進国の日本でもレディーファーストを意識できる男性やその行動を嬉しいと感じる女性が増えています。ところが、欧米ではレディーファーストは古い考え方になりつつあるのだそうです。それは、元々レディーファーストは、女性を先に行かせることで銃撃を予防する行動だった説があることや「女性なので」「女性だから」といった性的決め付け（ジェンダーバイアス）を感じることからだそうです。世の中はジェンダー平等やジェンダーレスの実現に向かっており、さらに、性の多様性を認める時代になろうとしています。これらのことから考えても、どうやらレディーファーストは時代遅れのようにです。そこで、私はレディーファーストをやめることにしました。ただ、女性を尊重することや譲り合うことは大切ですし、せっかく意識していたレディーファーストの習慣をやめてしまわなくてもよいのではないかと思う人もいるでしょう。しかし、そもそも譲り合うときに相手の性別が関係あるのでしょうか。

私は、レディーファーストをやめる代わりに、全ての他者を尊重して優先するアザーズファースト（他者優先）を始めることにしました。アザーズファーストはレディーファーストに対する言葉として私が考えてみた造語ですが、他者優先の考え方は皆さんにもお勧めしたいのです。アザーズファーストの実践を通して、みんなが気持ちよく過ごせる社会を目指したい、そして、自他を大切にすることを育みたいと思います。皆さん、どうですか。



ジョブチャレンジ（11月16・17・18日）で3名の南中学生が川滝小学校で職場体験活動を行いました。中学生は川滝小学校の卒業生で体験活動を真面目に頑張っていて小学生の励みになっていました。小学生も一緒に活動してうれしそうでした。



人権の花活動を11月21日に人権擁護委員の皆さんと一緒に行いました。人権標語を書いたプランターに人権の花（パンジー）を植えました。児童玄関に並べています。

本校4年生の古川莉緒さんの作品が歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールの小学校高学年の部において、第1位を受賞しました。

